

ササ系リンドウの培養増殖システムの構築と生産コスト

福島県農業試験場野菜部・平成10年度農業試験場成績概要

1 部門名 花き-リンドウ-バイテク 05-25-73000000

2 要 旨

ササ系リンドウの苗を培養によって増殖し、6月中下旬に圃場移植する技術のシステムを構築し、生産コストを試算する。

(1)施設概要 最大 20,000本生産

ア 建物面積は、培養準備室、30㎡、培養室(培養棚10個)、20㎡、計50㎡。

イ 電気(電灯50A、電力5KW)、ガス、水道

ウ 順化用簡易ハウス、50㎡ (4)標準培養機器類

(2)増殖過程

ア 培養条件 1/2MS(3%ショ糖、0.7%寒天)、20℃ 2,000lux 18時間照明

イ 初代培養(花芽形成前、5月上旬頃の茎頂部)で得られる培養個体は、約50%。以後、培養個体が3節程度に生育したら、随時節を分割移植して増殖するが、試験管内の生育が同系統でも著しく異なるので、3節までの生育期間を3段階、45、60、90日に設定すると、次年度の圃場移植時期までの、増殖率は、45日タイプで700倍、60日タイプで240倍、90日タイプで26倍と推定される。

ウ 鉢上げは、バーミキュライトを用いて、セル容器(72穴)で、約2週間のべたがけ被覆管理とし、その後、約1ヶ月の通常管理で移植可能になり、損失は少ない。

(3)生産コスト

ランニングコストのみで1本当たり、1,000本規模では、約100円、7,000本以上では、約75円になり、内訳は、人件費約75%、電気料金約20%である。